

# MIZUHO

新年度が始まり、意欲あふれる新入生を迎え、学園は活気に満ちています。今号は、名称を「愛知みずほ短期大学」に改めた短期大学に、今年度、新設された現代幼児教育学科と、行き先をオーストラリアからシンガポールに変更した高等学校の海外修学旅行を中心に編集しました。学園の歴史に新たな一歩を刻んだ2つの話題とともに最新の情報もお届けしますので、どうぞお楽しみください。

瀬木学園だより

学校法人瀬木学園

愛知みずほ大学・大学院

愛知みずほ短期大学

愛知みずほ大学瑞穂高等学校



「新生 MIZUHO」	1・4
「とっておき MIZUHO」	2・3
「さらり☆MIZUHO」	5
「INFO MIZUHO」	5
「瑞想録」	5



短大の新名称が掲げられた1号館と現代幼児教育学科(短大)の授業(造形表現Ⅰ)の様子

愛知みずほ短期大学が新たな一步を踏み出しました。新学科、現代幼児教育学科の歴史の始まりです。学園の新たな取り組みを紹介する「新生MIZUHO」では、今回、現代幼児教育学科の1期生として学ぶ上野茜さんと小森祐季さんへのインタビューを通して、新学科の学びの魅力をご紹介します。

**M 愛知みずほ短期大学の現代幼児教育学科を選んだ理由は何ですか。**

**上** 系列校の瑞穂高等学校に在籍していて、もともと親しみを感じていましたが、3年生の担任から「現代幼児教育学科では保育士の資格と幼稚園教諭の免許が取れる」とのアドバイスもあり、こちらに決めました。また、オープンキャンパスで授業体験をした際、障害者福祉について教えてもらいました。その授業がとても分かりやすく楽しかったことに魅力を感じたからです。

**小** 様々な大学・短大のオープンキャンパスに参加した中で、こちらの短大は先生と生徒の距離が近いことに、まず魅力を感じました。あまりにも気に入り、(オープンキャンパスに)4回も来てしましました。それと、学内を見学した時に、ピアノや人形がたくさん置いてある演習室など、施設が整っていたことに魅力を感じたからです。また、上野さんと同じで、授業体験も分かりやすく楽しかったからです。

**M 今、実際に受けている授業の感想を教えて下さい。**

**上** 高校は50分授業だったので、短大での90分授業というのがとても長く感じます。でも、その長い時間の中でも専門的なことを学べているので、頑張っていきたいという思いがあります。とともに、人の心を「見る」ということや心理学に興味があったのですが、今はさらに児童家庭福祉にも興味があります。

**小** 高校は普通科に通っていたのですが、一般的な教科にはそれほど興味を持てず授業中に眠くなってしまうこともありました。ですが、保育に関しては興味がある分野なので、しっかりノートをとるなど、頑張ろうという気持ちが強いです。どの授業も繋がりがあって、同じ単語が出てきたりします。子どもの気持ちが分かる保育士になりたいので、心理学や「気持ち」を理解できる授業に興味があります。

**M ピアノなど、実技に関してはいかがですか。**

**上** ピアノは全く経験がなかったので、昨年の12月から習い始め、今やっと少し弾けるようになりました。短大では習熟度別で実技の授業を受けられますし、授業時間以外にも自由に練習できる環境が整っていて助かります。

**小** 私は5歳頃からピアノを習っていますが、短大でも先生が一人ひとりを見ててくれて、間違っているところや注意すべきところを指摘してくれます。





とっておき  
MIZUHO

# 異文化理解へ新たな扉 シンガポール修学旅行

高

2000年から実施してきた高等学校の海外修学旅行の行き先が、これまでのオーストラリアからシンガポールに変わりました。新しい修学旅行の最大の魅力は、現地の学生と触れ合う「B&S プログラム」です。瑞穂高等学校の海外修学旅行は、異文化理解を主目的としていますが、昨今のグローバル化の急激な進展にともない、異文化理解の深化を図るために、より文化の多様性を有するシンガポールに目的地を変更しました。現地での様子と、インターを通して、新たな扉を開いた高等学校の修学旅行についてご紹介します。 ※「B&S プログラム」……現地の学生(Brother & Sister)と一緒に使う班別研修プログラム

## DATA

期 間 / 2018年2月11日～2月18日 4班編成 各班4泊5日 参加生徒 2年生332名\*

- 1日目 渡航 シンガポールリバーカルーズ
- 2日目 ジュロン・バードパーク マーライオンパーク マリーナベイ・サンズ展望台 ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ
- 3日目 B&S プログラム 市内散策
- 4日目 セントーサ島散策 ユニバーサル・スタジオ・シンガポール ナイトサファリ
- 5日目 帰航

\*国内旅行も実施(近畿方面 参加生徒45名)

班別研修(B&Sプログラム)



### M 修学旅行で楽しみにしていたことは何ですか。

**中本くん:**日程だけなら班行動、全てとなるとホテルでの宿泊が楽しみでした。なかなかあれだけの人数で泊まる事はないので。

**原田くん:**初めて海外に行けるってことでしょうか。でも、前年度までのオーストラリアにはとても楽しいというイメージがあり、それよりは楽しくないのかなというイメージでしたが、結局はとっても楽しかったです。

**名嘉さん:**班行動を楽しみにしていました。実際に自分たちの行きたいところへ行けましたし、英語が通じなくて大変なこともありましたが、それでも楽しかったです。英語は知っている単語を並べたり、ジェスチャーでなんとかなりました。ガイドはエリックさんという男性の方でしたが、すごく親しみやすく積極的に話しかけてくれました。英語と日本語、お互いカタコトで話しました。

**川田さん:**私の班のガイドは、まゆさんというシンガポールに留学中の日本人の方でした。なので、不安は無かったですし、英語を教えてもらうこともできました。一番楽しみにしていたことは食べ物です。イメージではお肉がたくさん出てくるのかなと思っていましたが、そんなことはありませんでした。でも、量の多さにはビックリしました。おいしかったんですけど。

**M 街全体としては、シンガポールは都会ですよね。東京や名古屋と違いはありましたか。**

**中本くん:**うまく言えませんが、全然違います。東京や名古屋というのは日本であり、自分が知っているところです。一方、シンガポールは、自分が全く知らない場所で、「どのような所だろうか」という気持ちで行くからかもしれないのですが、



マリーナベイ・サンズ展望台



違っていて、素直によいところだと思えました。

**名嘉さん:**建物がカラフルだったり、蜂の巣のような独特なデザインのものがあって日本とは違いました。ビルだけではなく、普通の住宅もカラフルだったのには驚きました。

#### M 一番印象に残ったことは何ですか。

**名嘉さん:**班行動でガイドさんとコミュニケーションが上手くとれなかつたことです。集合時間までにどのような経路で集合場所に行くかを話し合う際、英語が通じずハラハラしました。

**川田さん:**ユニバーサル・スタジオ・シンガポールですね。日本とはかなり違っていました。キャラクターやプロのダンサーの方々のショーが本格的でした。

#### M カルチャーショックだったことは何ですか。

**原田くん:**飲食店で出てきたお茶です。外気温が高くて暑いにもかかわらず、熱いお茶が出てきたことです。それも温いという温度でなく、湯気が出るほど熱かったのには驚きました。

**中本くん:**一方で、ペットボトルに入っている冷たいお茶やお水が高額だったことにびっくりしました。日本の食べ物も売られていましたが、その値段の高さには驚きました。カップラーメンなんかも高かったです。

**川田さん:**シンガポールの人のフレンドリーさと優しさが、日本とはまた違ったものがあり

ました。お金の種類が分からなかった時、店員さんが1つ1つ教えてくれました。

**名嘉さん:**英語の使い分けです。旅行の序盤では人とぶつかった時などに日本の「ごめんなさい」にあたる「Sorry」を使っていたのですが、途中から「Excuse me」で良いと分かり勉強になりました。旅行の終盤ではみんな、細道を通る時などに「Excuse me」を使っていました。



「言葉」の授業風景

「音楽C」の授業風景

小森 祐季さん

## M 一緒に学ぶみなさんとの関係はいかがですか。

**上** とてもいい雰囲気です。授業は真面目に一生懸命受けて、休み時間にはたくさん話せるような、明るい子が多いです。

**小** それ違った時や、今まで話したことが無くても向こうから話しかけてくれる子が多いです。また、学生委員に立候補するような積極的な子も多いです。

## M 目指す保育士像・幼稚園教諭像を教えてください。

**上** 憧れていた幼稚園の先生が優しく、時には厳しく、また明るくて一人ひとりの気持ちを理解してくれる先生だったので、私もそのような先生になりたいと思っています。

**小** 私は保育士を目指しているのですが、乳児のクラスは1クラスの人数は少ないけれど、例えばお昼寝の時間には5分ごとに呼吸をしているかの確認をしなければなりませんし、些細なことでも保護者の方にお伝えしなければならないので、どんな小さなことにも気づけ、広い視野を持って様々なことに対応できる保育士になりたいです。

## M そのためにはこの2年間を どのように過ごせばよいと思いますか。

**上** 2年間というのはとても短いですが、その分多くのことを一度に学べますし、即戦力として現場に出られることが魅力だと思います。なので、自分の理想である幼稚園の先生に近づけるよう、カリキュラムの中の授業や実習をとにかく一生懸命頑張りたいと思っています。

**小** 私も2年間というのはとても短いと思っているので、時間を無駄にせず過ごしたいと思っていますが、時には趣味などで息抜きをしながら頑張ることも必要だと思っています。

## M この学校に期待することは何ですか。

**上** これ以上、期待することはできません。学ぶ上でとても充実していて満足しています。

**小** 私も今まで十分です。不満などは全然ありません。

## M 最後に、後輩に薦められる愛知みずほ短期大学現代幼児教育学科のポイントは何か教えてください。

**上** 先生が一人ひとりをよく見てくれているので、相談などを持ち掛けるとしっかりと答えてくれるところが薦められる点だと思います。

**小** 少人数制なので先生が一人ひとりの顔を覚えて下さり、個々に合ったアドバイスをもらえることですね。

# Newspaper



きらり☆ MIZUHO

## 卓球部 過去最高の第3位

全国高校選抜卓球大会

高等学校の卓球部が全国選抜で第3位に輝きました。3月26日(月)から28日(水)まで福井県営体育館で行われた第45回全国高等学校選抜卓球大会で、高等学校の卓球部が女子学校対抗で準決勝に進出。今大会優勝した四天王寺高校に敗れ、惜しくも決勝進出は逃したものの、全国高校選抜では過去最高となる第3位の成績を収めました。



INFO MIZUHO

## 「健」の学び舎に708名

平成30年度新入生

本年度、瀬木学園の学びの扉を708名のみなさんが開きました。学園としてみんなの学びを力強くサポートして参ります。

### 各校の入学状況

大学 136名	大学院 11名
短期大学 124名	高等学校 437名



入学式の様子



### 学園創立80周年 記念誌作成のお知らせ



学園は、来る2019年と2020年に、それぞれ創立と開校(1939年創立 1940年瑞穂高等女学校開校)80周年を迎えます。節目を迎えるにあたり、記念誌を作成する運びとなりました。現在、まだ資料集めの段階ではありますが、2020年の発行を目指して作業を進めて参ります。今後、作成にあたっての情報を随時、発信して参りますのでご注目ください。

### ・瑞想録・

今号はインタビューを中心とした構成でお届けしました。学園の学生や生徒のみなさんにインタビューをしていて毎回、感じることは、みなさん、表情が素敵だということです。みなさん、どんな質問にも借り物でない自分の言葉でしっかりと答えてくれます。その誠実な態度が表情に表れている気がします。そんなみなさんの時間は楽しくて、ついいつい予定時間をオーバーしてしまいます。紙面を通して、そんな楽しさを感じてもらえたなら幸いです。

転寝